

～すい身汁もおにぎいもおいしい！～

青少年事業「親子、祖母クッキング教室」は11月12日、市民センターで開催しました。



野菜を切って準備

町内の小学生8人と祖母ら7人が参加して、一関市食生活改善推進員藤沢支部の皆さんから、秋が旬の秋刀魚を使った「さんまのすり身汁」と「枝豆と塩昆布の焼きいなり」の作り方を教わりました。

参加した子どもたちは、進んで材料の皮をむいたり切ったりしながら、手際よく作業をしていました。



油揚げにご飯を詰めておにぎり作り

料理を試食した参加者は「ご飯を詰めるのがむずかしかったけど、食べたら美味しかったので、家でも作りたい」と喜んでいました。

～しっかり学んで、がっちり活用～



伊藤さんと山本さん

成人事業「金融資産活用講座」は11月2日、藤沢市民センターで開催しました。

町内から参加した6人は、岩手銀行藤沢支店次長の伊藤憲司さんと千厩支店の山本さんから、「新NISA」について学びました。



新NISAが2024年1月から始まることから、現行NISAとの違いや、留意点等について詳しく学びました。

参加者は「専門用語が多くて難しかったですが、勉強になりました」「テレビで放送されているが、内容を知ることができて良かった」と話していました。

～200年の時を伝える武家屋敷～



内蔵を見学

わくわくセミナー文芸コース「秋季吟行会並びに写真撮影会」は11月1日、秋田県の角館町で開催しました。

参加した20人は、武家屋敷が立ち並ぶ屋敷

通りを歩き、色付き始めた庭木の紅葉を楽しみながら、詩歌づくりや写真撮影を行いました。

武家屋敷は、小田野家、豪壮な薬医門の河原田家、足軽・中間などの下級武士の家の松本家、岩橋家、武家屋敷の建築様式を今に伝え、資料館となっている青柳家を見学してきました。

参加した皆さんから寄せられた作品は、後日市民センターホールに掲示します。



日暮れに記念撮影



～明治のお屋敷と庭園で研修～

わくわくセミナー植木剪定コースの移動研修は11月8日、盛岡市の「賜松園」と「一ノ倉邸」を訪れ開催しました。



説明を聞きながら庭園を巡る

明治天皇から賜った松が名前の由来とされる賜松園には、大イチョウやシダレカツラ、樹齢300年にもなるエドヒガンザクラなど169本の庭木が植えてあるほか、大きな灯籠7基が配置されており、参加者は説明を聞きながら庭園を巡りました。

また、明治後期に造られた一ノ倉邸では、輪を描く「龍の夫婦松」や平泉から株分けされた「中尊寺



神代杉の欄間

ハス」が育つ庭園を見学後、屋敷内の大小14の和室を見て回り、10間通しの杉丸太のけたや鹿角の神代杉の欄間など興味深く見ていました。

参加者募集中!!

青少年事業「ランタンづくり」

牛乳パックや身の回りにある物を使って、自分だけのオリジナルランタンを作ります。

■日時：令和5年12月17日（日）10:00～12:00

■場所：藤沢市民センター美術室

■対象：小学1年生～6年生

■定員：10人

■参加費：300円（材料代）

■持ち物：牛乳パック1個、
はさみ、筆記用具
水分補給用飲み物

※牛乳パックは、きれいに洗って乾燥させた物をお持ちください。

■締切：令和5年12月11日（月）



成人事業「本格門松(ミニ)作り」

年神様が、家へ尋ね入る目印とされている門松を自分で作って飾り、正月を迎えましょう。

■日時：令和5年12月9日（土）13:30～15:30

■場所：藤沢市民センター美術室

■対象：一関市民

■定員：10人

■参加費：3,000円（材料代）

■持ち物：作業用手袋（軍手、ゴム手袋等）
ペンチ、剪定ばさみ、移植ベラ
作業しやすい服装

※竹挽き用ノコギリがある人は、お持ちください。

■申込締切：令和5年12月4日（月）



※各事業定員になり次第受け付けを終了します。詳しくは、市民センターまでお問合せください。

■申込み・問合せ先

一関市藤沢市民センター TEL：0191-63-5515

～文化祭で展示、発表～

藤沢地域産業福祉文化祭において、市民センター事業参加者の作品や生涯学習講座わくわくセミナー受講生の作品を展示の他、ステージでは、稽古の成果を披露しました。



郷土文化伝承コース(本郷神楽)



コーラスコース



箏コース

オカリナコース



フラダンスコース



舞踊コース



絵画コース



作品の展示と事業の様子を写真で紹介



編み物と陶芸コース



押し花・
ホビークラフトコース